

5-9

デイサービス支援効果新任職員向け研修の取り組み

支援効果を意識した業務にむけて

通所介護

人材育成

センター部会 デイサービス支援効果研究委員会

発表者：倉重 光一郎

共同研究者：デイサービス支援効果研究委員会 委員

所在地：新宿区神楽坂岸 1-1 セントラルプラザ

TEL：03-3268-7172

E-mail：kourei@tcsw.tvac.or.jp

FAX：03-3262-0635

今回の発表の施設
またはサービスの
概要

デイサービス支援効果研究委員会は、東社協センター部会の専門委員会として、デイサービスの支援効果の調査研究をもとに、テキストの作成及び研修を企画しています。

<取り組んだ課題>

平成 19 年 12 月に発表した調査研究報告書「高齢者デイサービスにおける支援効果と支援技術」を、現場で活用できるようテキストを作成し、またそれを活用した研修を企画する。

<具体的な取り組み>

- デイサービス支援効果研究委員会の中で、新任職員テキスト作成作業委員会を立ちあげた。
- 報告書の読み込み、現場での課題整理(新人が抱えている問題)に関する委員会を開催。
- 工夫した点
 - ・現場の職員が、読みやすく理解できるよう図や、具体的な事例をいれる。
 - ・既刊の調査研究報告書のダイジェスト版の目的もあったが、新任職員に対しては、支援効果の説明の前段として、基本的なデイサービスに関する知識や基本となる考え方も必要であると考え、編集を工夫した。
 - ・実際に現場で抱えている問題点を委員の施設やインターネットのソーシャルネットワークなどでも情報収集し、編集に役立てた。
 - ・コラムなども入れ、読みやすくする。
 - ・研修の中では、個人ワークやグループワークをいれ、自らが考えられる研修とし、また他施設の職員とも交流できる時間を設けた。

<活動の成果と評価>

今回作成したテキストをもとに平成 21 年 5 月、6 月、7 月に入職 1 年程度の職員を対象に、デイサービス新任職員研修を開催した(半日研修)。参加者は、各回 40 名程度で、120 名余の参加を得た。

事前に新任職員が抱えている悩みを集めた中に、「レクリエーションをどう盛り上げたらいいのか分からない」などの意見が多かった為、研修プログラムでは、アクティビティ事例をもとにグループワークを行った。支援効果の視点から事例を検討し直すことで、終了後のアンケートの感想には、「日々業務に追われているが、改めてデイサービスの目的等確認できてよかったです」「モチベーションアップにつながった」「支援効果を意識する必要性を感じた」といった声が挙がっている。

<今後の課題>

- ・アンケートにおいて「講義内容が盛りだくさんで、時間が足りなかった」という意見が多かった。今後は、一日単位の研修や、よりわかりやすく考えられる研修の企画の検討が必要である。
- ・今後正式なテキスト発刊に向けての準備、それぞれの施設内での研修企画についても取り組んでいく必要がある。
- ・現在研究委員会では、中堅職員向けのテキストについても準備を進めている。

【メモ欄】